

荒川知水資料館見学

日 時 令和4年6月2日

対 象 第5学年

理科見学として、「荒川知水資料館」を見学しました。荒川のことを知り、学ぶための資料館で、荒川をはじめ、川や水について広く“知”る場所という意味で、“治”水ではなく、“知”水となっています。新しい荒川に出会う1階、荒川を知る2階、荒川を見守る3階の3つのフロアに展示物が置かれ、周辺の岩淵水門や水位標柱などを見学することもできます。



新しい荒川に出会う

荒川流域の航空写真が床一面に広がっていて、資料館や自宅の位置などを確認しました。荒川の大きさや流域の様子について視覚的に捉え、驚く子供たちの様子が見られました。



荒川を知る

荒川下流域の水害リスクについて、プロジェクトンマッピングで知りました。大雨により、葛西駅や小岩駅など、身近な場所が浸水していく様子を見て、子供たちは水害の恐ろしさや地域の危険性を実感していました。



荒川を見守る

荒川流水模型のコーナーでは、実際に荒川の模型に水を流すことで、堤防や水門の役割について分かりやすく知ることができました。岩淵水門が大水の侵入を防いでいることを知り、子供たちは治水対策に感心していました。



周辺施設

実際に見学し、岩淵水門や旧岩淵水門の迫力を感じていました。資料館で学んだことと結び付け、荒川のことについて考える様子が見られました。